西会津町チーム大健闘!!

第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

過去最高の29位

今年で32回目を数える、市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月15日に開催されました。西会津町チームは、過去最高順位となる29位でゴールし、選手は大健闘を見せました。

コロナ禍の大会

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い、郡山市の郡山ヒロセ開成山陸上競技場をスタートし、県庁をゴールとする9区間50・2キロに短縮しての大会となり、町村混合チーム「希望ふくしま」を含め、県内59市町村から、昨年より3チーム少ない50チームが出場しました。

西会津町チームは、監督の佐藤悦美さんを中心に、猛暑が続いた7月から週3回、さゆり公園で練習を重ね、昨年の総合成績30位以上の成績を目標に取り組んできました。

思いつないで

大会当日は天候に恵まれ、これまでの女子区間で最長となった強豪揃いの1区4・7キロを、昨年15区で好走した中学3年生の江川愛彩美選手に任せることとなりました。

江川選手は、前に数名の選手が見える絶好の位置で中継所に入る力走を見せ、襷を受け取った2区の清野樹選手は、今大会初出場のプレッシャーを跳ね除けて順位を3つ上げ、エース区間の3区で待つ伊藤大河選手に襷をつなぎました。今年8月に行われた福島県高等学校新人陸上競技大会会津地区予選会の男子5000メートルを制して流れに乗っている伊藤大河選手は、大会最長区間を19位で走り抜け、順位を9つ上げて4区につなぎました。

4区初出場の岩原遥音選手は、前後の選手の姿が見えない難しいレース展開の中、練習どおりの走りを見せ、順位を2つ上げました。レース中盤のカギを握る5区7・0キロは、今年社会人となった主将の伊藤亜久里選手が順位を3つ上げてチームを引っ張りました。

その後、6区の高野駿選手、7区の鈴木俊哲選手、8区のふくしま駅伝初出場となった伊藤詩野選手が、事前の設定タイムをそれぞれ40秒程度上回る力走を見せてアンカーにつなぎました。

最終9区は昨年に引き続き大場悠選手が務め、ゴール前では1人を追い抜く意地の走りを見せ、総合29位でゴールしました。

今大会を通して

今回の大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、ふるさと選手が起用できないなどさまざまな制約がありましたが、選手たちは30位以内とした目標を達成しました。沿道での応援の自粛により応援ツアーは行えませんでしたが、町民の皆さんの心強い思いを胸に、選手一人一人の持つ力を結集した大会となりました。

襷（たすき）つないだランナー

1区［女子4・7キロ］
江川 愛彩美（あさみ）（西会津中3年）

2区［男子中学生3・0キロ］
清野 樹（いつき）（西会津中2年）

3区［男子9・3キロ］
伊藤 大河（たいが）（会津高2年）

4区［男子中学生3・9キロ］
岩原 遥音（はると）（西会津中3年）

5区［男子7・0キロ］
伊藤 亜久里（あぐり）（東亜テクニカル㈱会津若松営業所）

6区［男子4・8キロ］
髙野 駿（しゅん）（西会津中3年）

7区［男子5・7キロ］
鈴木 俊哲（しゅんや）（会津学鳳高1年）

8区［女子中学生3・4キロ］
伊藤 詩野（しの）（西会津中2年）

9区［男子8・4キロ］
大場 悠（ゆう）（西会津町役場）

▶江川愛彩美選手（1区・写真左から2番目）

▶大場悠選手（9区・写真中央）

写真提供：橋本真幸さん（須賀川市）

▶髙野駿選手（6区）

▶伊藤亜久里選手（5区）

▶鈴木俊哲選手（7区）

▶伊藤大河選手（3区・写真左）

西中図書館　新刊オススメ本

『脳のアクセルとブレーキの取扱説明書』
[真壁 昭夫、中野 信子 著]
白秋社

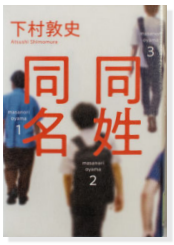
子育て、外見、人間関係といった多くの人が悩みを抱える分野について、脳科学と行動経済学の専門家二人がそれぞれの立場からアプローチし解決方法を提示していきます。

本書の目次の一部です。「面倒な人を外見で見抜く方法」「エネルギーの大食漢・脳が好む美人の条件」「松竹梅は『竹』を売るための戦略」「昨日のことを忘れ昔のことを覚えている記憶の不思議」

この取扱説明書を読んで、脳のアクセルとブレーキをきちんと踏み分け、生き抜く力の一助にしてみませんか。

『志麻さんの気軽に作れる極上おやつ』
[志麻 著]
マガジンハウス

『デルタの羊』
[塩田 武士 著]
KADOKAWA



『同姓同名』
[下村 敦史 著]
幻冬舎

『夜明けのすべて』
[瀬尾 まいこ 著]
水鈴社

町民ギャラリー　フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・髙橋政二（まさじ）さん（滑沢）の作品です。

作品紹介

滑沢集落の全景です。撮影地は滑沢集落の南側、向山の２次農構でたばこ生産団地として造成した場所です。

滑沢集落はもちろん、飯豊山も一望できる絶景の場所です。周囲を山に囲まれた静かな所で、過疎の進んでいる集落ですが、あまり不自由さも感じず、みんな元気で生活しています。

作品名　『冬の里』